

議会だより **せら**



■今号の主な記事

- 当初予算119億円 2~3
- 住みよいまちづくり事業はこれだ 4~5
- わがまちの地方創生は..... 7
- 地域医療を考える集い..... 11
- ズバリ **町政の課題** 13議員28問を質す ... 14~27
- 元気な人紹介 28

**おとうさん
ありがとう!**

No.41 平成27年4月15日発行

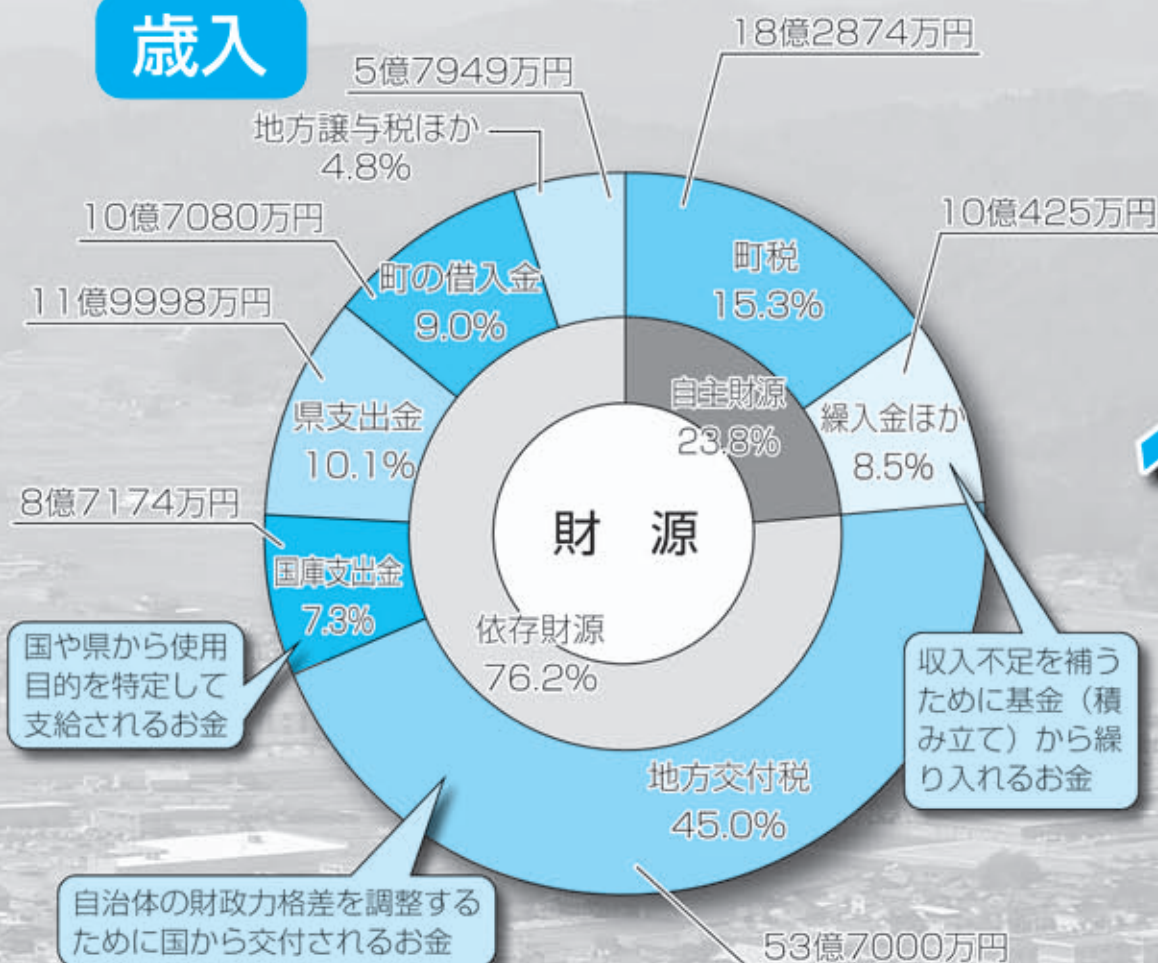
メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行／広島県世羅町議会 編集／議会広報広聴調査特別委員会

住民に潤いを!

一般会計119億円を賛成多数で可決

歳入



町長の施政方針

平成27年度の予算は、効率的な組織体制の整備を図り、事務事業の重点化を推進し、医療・介護・福祉の連携による地域包括ケア体制の構築を目指す。

平成28年度の幼保連携型認定こども園の開園を目指す。

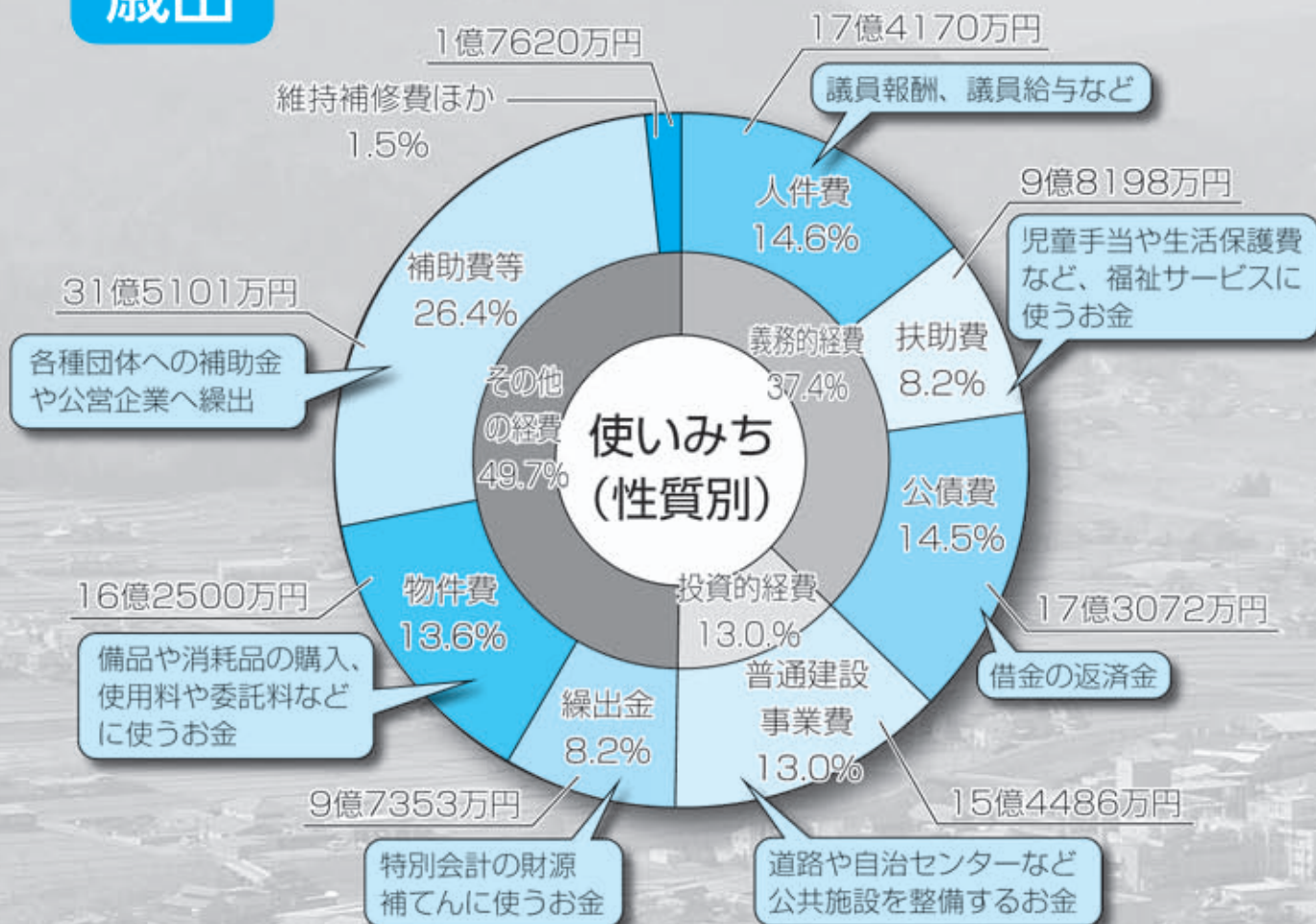
中国横断自動車道尾道松江線全線開通により、地域資源や観光PR等の情報発信を行い、道の駅世羅を拠点に世羅町ブランドの発信と交流による活力あるまちづくりを目指す。

教育の面では、教育の政治的中立性を確保し、町長との連携をし教育の向上を目指す。

人口減少や少子高齢化対策、地域経済の活力再生に向けた消費喚起、企業誘致などによる働き場の確保など、国が進める地方創生に対する総合戦略を展開する。

躍動・安心・進化で

歳出



■使いみち

款 名	歳出予算額 (万円)	比率 (%)
人 件 費	174,170	14.6
扶 助 費	98,198	8.2
公 債 費	173,072	14.5
普通建設事業費	154,486	13.0
繰 出 金	97,353	8.2
物 件 費	162,500	13.6
補 助 費 等	315,101	26.4
維持補修費ほか	17,620	1.5
合 計	1,192,500	100.0

■財源

款 名	歳入予算額 (万円)	財源区分	比率 (%)
町 税	182,874	自主財源	15.3
繰 入 金 ほか	100,425	自主財源	8.5
地 方 交 付 税	537,000	依存財源	45.0
国 庫 支 出 金	87,174	依存財源	7.3
県 支 出 金	119,998	依存財源	10.1
町 の 借 入 金	107,080	依存財源	9.0
地方譲与税ほか	57,949	依存財源	4.8
合 計	1,192,500		100.0



住みよいまちづくり事業はこれだ!!



民間認定子ども園施設整備補助事業 2億1938万円

平成28年4月開園予定の民間認定
こども園の建設費の補助をします。
(国庫補助金を含む)

新規

鳥獣被害対策パトロール事業 129万円

世羅町鳥獣被害対策実施隊員が鳥獣による農作物被害の発生箇所をパトロールし、速やかで効果的な捕獲活動を行います。

新規

認知症総合支援事業 99万円

認知症高齢者の症状悪化防止のために、専門的知識を有する医療機関等での早期診断を支援する。

継続

子育て応援商品券発行事業 1606万円

(平成 26 年度補正予算)

地域における消費喚起のため、子育て応援として地域商店等で利用できる商品券を、商工会を通じて子育て世帯に発行します。

新規

道の駅オープンイベント事業 400万円

道の駅世羅のオープンを町内外へ周知するため、オープニングイベントを開催します。

新規

飲料水施設整備補助金 500万円

ボーリング及び掘井戸等により水源を確保する者に対し、施工費及びその関連施設等の整備に要した経費の一部を補助します。

新規

英語検定・検定料助成事業 25万円

英語によるコミュニケーション力の向上を図るとともに、国際感覚をもったグローバル人材を育成するため、町内小中学生が英語検定を受験するに当たり、検定料の一部を助成します。

新規

その他の新規事業

放課後児童クラブ施設整備事業… 1181万円 せらまちこまちプロジェクト事業… 80万円
ため池耐震点検業務…… 2000万円 避難(場)所看板設置事業… 572万円

平成27年度予算に

反対 賛成

反対

矢山 武

福祉・暮らし 優先の町政を

合併して10年が経過したが、合併前の行政サービスが大きく低下し、住民負担が増やされてきた。

地域の産業で雇用を生み出す必要があり、観光ばかりに力を入れるのではなく、住民の力を活かし、福祉を守っていくことが安心して暮らし続ける上で大事な点である。

更なる節約に努めて、借金を減らすように努力する必要があるが、今こそ財政規律を強めることが、少子化が進み税収が減っていく心配があるなかで重要である。

公共下水道事業の見直しを図り、一般会計からの2億円を超える繰入れを見直すべきである。

また、道の駅世羅の工事などを月内に終わ

るように最大限の努力をし、5月初めにオープンすべきである。

介護、高齢者医療、国保等の社会保障については、低所得者への対応をもっと強めるべきである。

自治体本来の目的を大切にし、福祉・暮らしを優先した町政を求め反対討論とする。

賛成

田谷 幸奏

地方創生に 町の活路を

世羅町の財政は、合併当時と比較すると、実質公債費比率など財政指標は、いずれも徐々に回復傾向にあるが、自主財源比率23%は依然として財源不足に変わりはない。

そのような財政状況の中、投資的経費として確保した財源を有効

活用するため、新規事業10件、継続事業25件を重要事業として、長期総合計画の基本目標に沿って計上している。

その中には、鳥獣被害対策パトロール事業、英語検定・検定料助成事業、飲料水施設整備補助事業などの新規事業がある。なお、道の駅「世羅」のオープンイベント事業費も計上されているが、開業が遅延することの説明が必要である。

また、平成26年度補正予算に計上された地方創生費と一体的に執行するとともに、地方版総合戦略の策定にも積極的に取り組むようされたい。

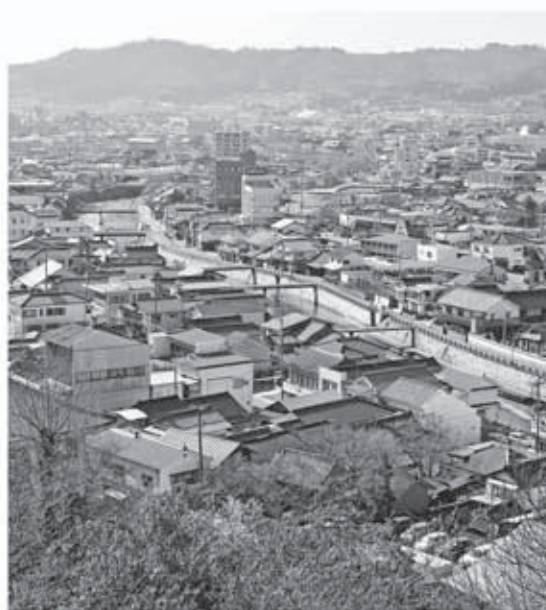
予算執行に当たっては、執行の都度、必要性、重要性、経済性を検討したうえで、費用対効果を考慮し、健全な財政運営を要望し賛成討論とする。

会計別予算

単位:万円

会 計	平成27年度	平成26年度
一 般 会 計	1,192,500	1,195,000
特別会計		
国民健康保険事業	200,739	188,602
後期高齢者医療制度	57,298	56,788
介護保険事業	253,848	245,466
介護サービス事業	1,377	1,495
農業集落排水事業	6,069	6,436
小 計	519,331	498,787
公営企業会計		
上水道事業会計	83,064	33,033
簡易水道事業会計	0	45,457
公共下水道事業会計	44,270	48,379
小 計	127,334	126,869
合 計	1,839,165	1,820,656

公営企業会計:(収益的収入及び支出)と(資本的収入と支出)の支出合計
:H27年度から簡易水道事業は上水道事業へ統合となる。



わがまちの地方創生は!!

国は、平成26年11月28日施行の「まち・ひと・しごと創生法」により、過去の人口動態の分析と将来の展望を提示する地方人口ビジョンと、これを踏まえて人口減少を食い止めるために、今後5年間（平成31年度まで）に必要な施策を定めた「地方版総合戦略」の策定を平成27年度末までに行うよう市町村に求めている。

そこで、町では、平成27年10月までには策定する予定である。

「地方版総合戦略」の策定に当たっては、国が定めた総合戦略等を考慮して

- 1 安定的な雇用の創出
- 2 新しいひとの流れをつくる具体的方策
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる具体的方策
- 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する具体的方策

の政策分野ごとの目標や施策に関する基本的方向等を定める。

なお、平成26年度一般会計補正予算（第9号）には、地方創生策の一環として、個人消費のテコ入れと地方支援策の予算が計上され、平成27年度当初予算と一体的に執行することになる。

平成26年度補正予算に計上された関連予算

地方創生費	8444万円
委託料	1100万円
定住ガイドブック作成業務（新規事業）	100万円
地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定業務（新規事業）	1000万円
負担金、補助及び交付金	7344万円
地域商品券発行事業	2108万円
子育て応援商品券発行事業（新規事業）	1606万円
定住促進空き家活用事業補助金	210万円
未来創造支援事業補助金	650万円
ニューファーマー支援事業補助金（新規事業）	750万円
企業立地支援奨励金	400万円
人材育成事業補助金	500万円
住宅リフォーム補助金	1120万円

報告します 委員会は今

総務文教常任委員会

新教育プラン「自立」「挑戦」「創造」

現地調査

世羅町社会福祉協議会
平成27年度事業計画
・常設サロンのサポート(交通手段の確保など)
・認知症・障害者等の
金銭管理サポート
・地域支援事業・介護
連携の推進
・自主財源(共同募金・寄附金)
確保の強化

山福田自治センター(請願第2号)
・木造平屋建てで
建築面積(207㎡)も狭隘
・収納場所もなく、備品等は各室内に放置
・事務室では来客対応が困難



山福田自治センター現地調査

・改築には多額の経費を要する
・建築年次も古く、水道の配管に不具合あり

新教育プランの策定

教育委員会議で合併10年を振り返り、これ

からの10年間を検討して新教育プランを策定した。

目指す姿を「しなやかで品格のある世羅の子ども 生きがいと潤いに満ちた世羅のひとつ」とした。

ふるさと納税 制度の取り組み

・寄附者地区別申出件数
関東37件 近畿37件
中国108件(うち(広島・尾道・世羅等)申出件数103件)
・使途指定別内訳
自治・環境・定住関係 195千円
農業・観光・商工関係 339千円
教育・文化・芸能関係 5275千円
子育て・福祉関係 1615千円

指定なし

2210千円

合計

9634千円

国民健康保険事業 事務の動向

・国からの公費拡充等により財政基盤の強化
毎年約3400億円の財政支援の拡充等
・運営の在り方を見直し
平成30年度から都道府県が当該市町村とともに国保の運営を担う。

介護保険制度改正 の動向

人口推移の動向
・高齢化率(平成26年3月末現在) 37.5%
主な改正点
・地域支援事業の包括的新事業に連携推進を追加
・平成29年度末までに地域支援事業へ移行予定
将来計画
・平成37年度の推計
人口16,125人
高齢者6,612人

世羅町ホームページ の更新状況

高齢化率 41%
介護保険料基準月額
32年度 7897円
37年度 9985円

未整備自治センター の整備計画

・各課からのアップは、今後の課題である。
・期限切れの掲載の解消を図った。
・掲載期間を事前に設定したことにより、期限切れの掲載の解消を図った。
・地域活動の拠点と位置づけ、大事な公共施設となるので、地域住民と十分協議し、今後、新町建設計画で検討する。

農地中間管理機構の現状は



オープンが待たれる道の駅世羅

現地調査

道の駅「世羅」の工事進捗状況

- ・4月1日から高速バスの運行開始である。
- ・工事完成は、4月20日ころであるが、道の駅のオープンは5月23日を予定している。
- ・町道の整備計画の現状
- ・過疎計画で着工していない路線のうち9本の現地調査をした。
- ・平成27年度は、新たな路線の工事着工予定はない。

公共下水道事業の現状

進捗状況
・現在の認可区域は、約100haで、平成26年度の進捗率は63%で

ある。

- ・公共マス411箇所の設置に対し接続は220箇所である。
- ・世羅中央病院付近の追加を検討している。

今後の管理運営

- ・今後のシミュレーションをして、町の負担がどの程度になるか試算する。

し尿処理施設の維持管理

平成27年度から町単独で処理することになるが、維持修繕費を2300万円と見積っている。5年以内に水槽と電気設備の改修に約2億円を要するが、改修時期は平成28年度中を予定している。
搬入量は、平成26年度1万3千klで大きな増減はない。公共下水道への転換、人口減少で処理量は減少するが、一方、合併浄化槽からの汚泥は増加するものと思われる。

農地中間管理機構の現状

制度の状況

- ・借り受け希望は、167.9haで、内10.5haに利用権が設定され、年度内には35.6haが設定される予定である。
- ・人・農地プランの推進が必要であり、団地になると国からの交付金があり、担い手の集積には協力金が出る。

飼料用米への取り組み

・JAでは水稻部会会員へWCS用稲、飼料米の契約を勧めている。町では、会員以外にも取り組みを要望している。専用品種は、食用米との混合など問題があり、世羅ファームへの出荷実績量は130tであるが、需要は1000t程度ある。

神崎大池改修工事

主食用品種は、中新千本、ホウレイで1万2千円の産地交付金がある。WCSは定額8万円であるが、雑草が多く対象外になった例もある。養鶏用飼料用米は1kg15円である。
工期は、平成28年2月を予定し、工事費は2億7000万円である。



神崎大池堤体改修工事 現地視察

※ WCS (ホルクroppサイレージ/稲発酵粗飼料) とは、稲の実と茎葉を同時に収穫し、密封して発酵させた牛の飼料。

今年も議会報告会意見交換会を開催

調査事項

「議会基本条例」制定に向けた取り組み状況及び今後の進め方
取り組み状況

前回の本委員会で協議し各委員の意見を参考にした小委員会の最終案を作成したので、広く町民の意見を聴取するため、1月発行の「議会だより40号」及び世羅町ホームページに議会基本条例（案）に対するパブリックコメントを募集する旨の記事を掲載したところ、9人の方から貴重な意見が提出された。提出された意見の内容は、かなりのボリュームで内容も多岐にわたるうえ、法律解釈など専門的なことも

相当量含まれていることから、拙速に結論を出すことは困難と考えた。

今後の進め方

提出された意見については、今後、小委員会及び本委員会で十分検討するとともに、専門家の意見を聴くなどする必要がある。

また、5月末に予定されている議会報告会・意見交換会で本条例の必要性などを説明し意見を求めることも考慮すべきである。それらの結果を待つて小委員会の意見をまとめ「町議会としての考え方」を作成したうえ、本委員会にはかり町議会としての最終案を作成することにした。

議会報告会・意見交換会を実施

平成27年度も前年度同様、町内13か所で実施することにした。

開催日時・場所は、下記のとおり。



永年勤続表彰

2月19日 広島県町議会表彰式において、写真左より中村幸雄議長、岡田武士議員、徳光義昭議員の3人は町議会議員として15年以上、仲行洋議員は、町議会議員として14年以上在職した功績に対し表彰されました。

平成26年度自治功労者等表彰式並 広島県町議会議員研修会



第32回議会広報写真コンクールなどで表彰



広島県町議会広報写真コンクールで最優秀賞を受賞しました。

平成27年度 議会報告会・意見交換会（予定）

開催日	時間	開催場所
5月20日（水）	19:30～	津久志自治センター
		せら文化センター
5月22日（金）	19:30～	せらにしタウンセンター
		大見自治センター
		西大田自治センター
5月27日（水）	19:30～	黒川自治センター
		山福田自治センター
		津名自治センター
5月28日（木）	19:30～	甲山自治センター
		宇津戸自治センター
5月29日（金）	19:30～	中央自治センター
		伊尾自治センター
		東自治センター

世羅地域の医療を

考える集い

3月1日、昨年に続き「世羅地域の医療を考える集い」を行政と共催で開催した。今回は、「かけがえのない命のために 私たちができること」をテーマに「救急医療」を取り上げた。

基調講演

世羅中央病院の神辺企業長が、世羅中央病



世羅中央病院 神辺企業長

院は住民に愛され信頼される医療機関、また東部中山間地域の拠点医療機関を目指していると熱く語られた。続いてパネルディスカッションでは、4人のパネラーがそれぞれの立場で「救急医療」について話された。

世羅中央病院

末廣院長

世羅中央病院における救急医療の現状、安易な救急受診を抑制するために導入された時間外選定療養費の徴収後には救急外来の受診患者総数は1年目で11%減少した。

世羅郡医師会

瀬尾会長

救急事態への対応で、大切なできる事は3つ。急いで病院へ、心肺停止への対応、応急処置である。医療機関の規模でできることは限られる中、一般診療所の重要な役割は、軽傷の診断、確実な治療及び中等症・重症患者を高次機関病院へ紹介・転送することである。かかりつけ医と基幹病院の使い分けをしてほしい。

三原市消防署北部分署

中田救急救命士

救急通報からの流れでは、早期の通報と救命処置が大切。統計から見える世羅

地域での救急搬送は、この3年で件数は微減だが、世羅地域の医療機関への搬送件数は横ばいで、急病の割合は増加し、一般負傷は低下している。

葵の園・セラ

松岡相談支援員

医療機関と介護施設の関係について介護現場の現状、医療・保健・福祉が手を取り合い地域医療や、救急医療を守っていく必要がある。

参加者の声

(アンケート)

- ・自身の健康管理が大切。
- ・医者、救急等の現場の状況がよくわかった。
- ・小児医療、産婦人科の立場からの話を聞きたい。
- ・在宅療養者の声をしっかりとつなげるような仕組み作りをしてほしい。



請願・陳情を審査しました

3月定例会において、3件の請願陳情審査を行い、採択2件、不採択1件となりました。

番号	件名	請願・陳情者	委員会の意見	審査結果
17	上の橋（通称）の管理の要望	世羅町甲山 268 - 4 代表者 三好 英雄 外 20 人	町道として認定すべき基準を満たしていないことなどから、採択することはできない。	不採択
1	世羅町森林・林業・予算に関する要望書	世羅郡森林組合 代表理事組合長 梶谷 哲生 外 15 人	陳情の趣旨は、妥当と考える。	採 択
2	山福田自治センターの新築建替えの早期実現について	山福田地区振興協議会 会 長 久保 正道 外 15 人 紹介議員 仙光 保喜，盛谷 光明 新原 浩，仲行 洋	請願の趣旨は、妥当と考える。建替え時期については、今後十分検討されたい。	採 択

上^{かみ}の橋（通称）の管理要望

反対・賛成

反対 徳光義昭

建築後50年位が経過しておりガードレールも低く長寿命化の診断もされてなく、危険であり安全に課題がある。また、改修には多額の費用を要し、他の計画と整合性とならない。

賛成 岡田武士

経済的にも問題があると思うが、地元の人々の願いはかなえていくべきだ。

賛成 福田 豪

安全を担保するがゆえにきちっとした管理がされなければならない。

賛成 仲行 洋

町は、条例、規則、要綱に基づいて公正な行政をすべき。いろいろな要望もあるが、公正な執行をのぞむ。

賛成 下原嘉雄

築50年が経過し、基準に合わないのではこのまま放置しておくのは危険である。

反対 福田義人

この橋を高齢者が使うには、段差もあり、

歩行用の老人車も使い勝手が悪い。町道認定して今後管理をするよりは、勇気ある撤退をすべき。

反対 仙光保喜

今後の課題として総合的な部分で調査研究すべきである。

架けられた時の状況よりも近年道路改良が進んで、近いところに立派な橋が架かっている。橋を延命して危険な状況に町民をさらすことは重大な間違い。現在の町の基準にも合わない。



管理要望された 上の橋

提出議案等の採決結果

第1回世羅町議会定例会（平成27年3月）

（賛否の分かれたもの）

○：賛成 ●：反対 ※：除斥

議案番号	提出議案	採決	田谷	盛谷	岡田	米重	仲行	矢山	福田	福田	下原	新原	生田	徳光	仙光
議案第4号	平成26年度一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成26年度公共下水道事業会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○
議案第13号	連携中枢都市圏形成に係る連携協約	可決	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第15号	財産の減額貸付け	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	甲山自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	宇津戸自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	中央自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	伊尾自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	東自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	大田自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	大見自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	西大田自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	津久志自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	山福田自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	小国自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	※
議案第27号	津名自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	黒川自治センターの指定管理者の選定	可決	○	○	●	○	○	●	○	○	○	※	○	○	○
議案第34号	介護保険法に基づく地域包括支援センターの人員及び運営に係る基準に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第43号	介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備等に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	建設事業分担金の徴収	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	平成27年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	平成27年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	平成27年度後期高齢者医療制度特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成27年度介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成27年度公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○
陳情第17号	上の橋（通称）の管理の要望	不採択	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●	●

※：除斥 自己に関する案件であるため、議事に参加することができません。

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
議案第5号	平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第35号	行政手続条例の一部を改正する条例	可決
議案第6号	平成26年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第36号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第7号	平成26年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決	議案第37号	手数料条例の一部を改正する条例	可決
議案第8号	平成26年度介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第38号	中小企業融資運営基金条例の一部を改正する条例	可決
議案第9号	平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第39号	スポーツ施設設置条例の一部を改正する条例	可決
議案第10号	平成26年度上水道事業会計補正予算（第3号）	可決	議案第40号	福祉事務所設置条例の一部を改正する条例	可決
議案第11号	平成26年度簡易水道事業会計補正予算（第4号）	可決	議案第42号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第14号	町道路線の認定	可決	議案第46号	農村集会所施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第29号	児童ふれあいセンターの指定管理者の選定	可決	議案第47号	県営土地改良事業の経費の賦課徴収	可決
議案第30号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	議案第57号	平成26年度一般会計補正予算（第10号）	可決
議案第31号	教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定	可決	議案第53号	平成27年度介護サービス事業特別会計予算	可決
議案第32号	し尿処理施設設置及び管理に関する条例の制定	可決	議案第54号	平成27年度農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第33号	介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定	可決	議案第55号	平成27年度上水道事業会計予算	可決
			陳情第1号	世羅町森林・林業・予算に関する要望書	採択
			請願第2号	山福田自治センターの新築建替えの早期実現	採択

町政の課題

13議員28問を質す^{ただ}

ページ	質問者	質問事項
15	矢山 武 議員	1. 新しい教育委員会は教育の自由と自主性を守り、これまで以上に大切な教育の役割を果たせるか 2. 厳しい農村と農家を守り、家族農業を大切にし、希望が持てる対応を 3. 国保税・介護保険料の引き下げと福祉をどう守るか
16	福田 豪 議員	1. 執行権と執行責任 2. 人口減少への対応は
17	生田 智康 議員	1. 駅伝合宿で更なる町の活性化を 2. 若者が活躍できる世羅町に 3. 町民の安全、安心の確保はできているのか
18	新原 浩 議員	1. 町の災害復旧の進捗状況は 2. 「ふるさと納税」の今後の取り組みは
19	田谷 幸奏 議員	1. 世羅町の地方創生は 2. 高齢者への支援策は 3. 災害に強いまちづくりへ
20	盛谷 光明 議員	1. 安心の介護サービスの取り組みは 2. 認知症対策は
21	仲行 洋 議員	1. 職員の人材育成は 2. 小中学校の道徳教育は
22	徳光 義昭 議員	1. 地方創生による町の総合戦略を提案する
23	下原 嘉雄 議員	1. “まちづくり”の推進を図る活動で、NPO法人の設立支援はどのように取り組まれるか 2. 交通安全施設県道中安田・田打線の歩道設置の推進状況は 3. 町政における“住民”と“町民”の基本的考えは
24	米重 典子 議員	1. 小中学校における食育は 2. 放課後児童クラブの今後の動向は
25	岡田 武士 議員	1. おくだ正和の中山間8策 教育環境は日本一の政策の進捗状況は
26	仙光 保喜 議員	1. 臭気公害問題発生から20年
27	福田 義人 議員	1. 安全安心のまちづくりに欠かせないヘリポートの設置 2. 平成27年度の「ふるさと納税」の取り組みと体制は 3. イノシシパトロール隊の設置と運用は何処まで進んだか

教育委員会の自主性をどう守るか

答 町長が大綱を定め教育長を任命する



矢山 武 議員

矢山

教育委員会制度が大きく変わり、委員長と教育長が一本化され、責任が重くなると思われる。

愛国心や教育基本法に基づく教育が進められ、首長の関与が強まる。これまで以上に競争が強まると思われる。教育は、想像力を大切にしたい自主性が求められるかどうか。

教育長

教育長は特別職となり、議会の同意を得て町長が任命する。

社会を生き抜く力を育てるために必要な学力がどの程度定着しているかを調べるものが学力テストであり、いたずらに競争をあおってはならない。

道徳教育は、心身ともに健康な国民を育てるため必要であり評価は慎重に行う。

町長

現在の教育プランに基づき進め、問題は無いと考える。

家族農業を守り 希望がもてる対応を

答 国の支援策で

もつかる経営を

矢山

地方の再生は、所得倍増のかけ声だけではできない。米価下落で集落が消滅しようとしている。TPPも大幅減歩し、関税引き下げや農協改革で更に厳しくなる。家族農業が続けられる対策をとるべきではないか。

昨年、多く出たクズ米への対応をすべきではないか。ならし補償は検査を受けた三等以上に出すようだがどうか。法人の決算の見込みはどうか。

町長

ならし補償は、七万袋余りに2550万円程度の見込み。米出荷のJA集荷率は35%である。国の支援策で、法人の担い手を育成する。今年度は赤字の法人もある。



守れ家族農業

国保税・介護保険料の引き下げを

答 国保の広域化で国保税は上がる

矢山

一般会計からの繰り入れで、個人負担を引き下げてくらしを守る考えは。

介護保険の施設介護の単価の引き下げでサービスの提供が心配される。安心してできる介護と障害者福祉の充実をどう図るか。65歳以上の障害者サービスの移行について町の取り組みを聞く。

町長

平成30年度から国保事業の広域化で県が定めた保険料を支払うため、現在より上がる見込みだが、過大な負担が生じない様に要望する。介護保険料は、200円引き上げ、基準額が月額5900円になる見込みだ。介護サービス単価が4.4%引き下げられる。障害者のサービスは、個別に判断する。必要なサービスが受けられるよう努める。

伊尾自治センター改修工事の 執行課題は

答 関係機関との連携を密にする



福田 豪 議員

町長
管理者である教育委員会への協議や報告は行っていない。これにより、様々な迷惑をおかけすることをお詫びする。今後は、関係機関との連携をより密にした業務執行に努める。

教育長
工事の事前協議はなかったが、工事による使用制限の連絡は受け、利用者への周知は図った。今後は、事前の協議を行うよう、関係課へ強く申し入れ、適切な管理に努める。

福田豪
工事の必要性と合理性を否定するものではない。しかし手続き上の手順や経緯には問題がある。伊尾スポーツ広場は、社会体育施設である。そこへ浄化槽を設置することにより一部でも機能が縮小し、不便だけでなく設置の目的にも影響する。利用団体もさることながら、行政機関内部での手続きがとられないまま一方的に執行されたことは許されない。教育長はどのように把握され、管理責任をどうとらえるのか。

町長
地域間のばらつきはあるが、生活維持に課題があると認識している。空き家バンクや就農支援、デマンド交通など、施策に取り組んではいるが、人口減少の歯止めとしての効果は、十分に現われていない。これまでの取り組みを一層明確化し、社会増を図る施策の展開に努める。

福田豪
人口の都市部集中傾向は、町内にあっても同じようなことが言える。町としての対応策を尋ねる。

人口減少への対応は

答 長期総合計画を策定し

方向性を示す



伊尾スポーツ広場に設置された浄化槽

駅伝合宿で更なる

町の活性化を

答 町の情報発信の充実に努める



生田 智康 議員

生田

- ① 駅伝の町「せら」として
どう力を入れるのか。
- ② 宿泊施設としてせらにし
旅行村・せらの宿ひがし・
せら香遊ランドのPRや
世羅の農産物などのPR
は。
- ③ 駅伝以外のスポーツ合宿
への展開は。

町長

- ① 県内の全小中学校へ合宿誘致のダイレクトメールを送付し
た。
- ② ホームページ、マスコミなどの活用や町外各種イベントへ
の参加、また各事業者は利用客に世羅町産の農産物を利用
した特色ある食事で発信している。
- ③ 町民一人1運動1スポーツ参加の促進をしている。
広報・啓発の充実、地域と連携したスポーツ教室やスポー
ツ大会を開催している。また指導者の育成や資質の向上も図
る。こうした施策を実践普及することでスポーツ合宿をして
みたいとの声も出てくると期待する。

若者が活躍できる町に

答 長期総合計画に組み入れている

生田

- ① 若者が活躍でき
る町に。
- ② 女性の活躍をど
う引き出すか。

町長

- ① 長期総合計画に
組み入れている。
町内の中
学・高校生にア
ンケートを実施
し施策を具体化
する。
- ② 農業女子を中心
にプロジェクト
チームを作り、
農家民宿や体験
ツアーなどを
担っていただ
き、世羅町ファ
ンの発掘を拡大
したい。

町道の

安全確保は

答 計画に沿って整備

生田

町民の安全安心の確保に関
し、大田町市尻交差点の側溝整
備は。

町長

まるそう前交差点から榎橋に
向け、二年を目前に終了し、そ
の後、市尻交差点から北に向け
整備の予定。



市尻交差点付近の未整備側溝

町の災害復旧の

進捗状況は

答 早期完了に努める



新原 浩 議員

新原

昨年8月6日の大雨による災害で多くの被害が発生した。復旧工事の進捗状況は。

町長

被害箇所は農地など100か所、公共土木施設28か所、計128か所となっている。
工事の進捗状況は、国の査定を受けた農地・農業施設23か所のうち20か所は契約完了し、公共土木施設災害事業はすべて工事発注が完了した。なお、災害基準に満たない小規模災害は町補助事業を活用している。年度内の完了が困難な箇所については早期完了するように努める。

「ふるさと納税」今後の取り組みは

答 この好機を大きくとらえたい

新原

今後の体制強化とPRや特産品の発掘はどのように取り組んでいくのか、また寄附金の活用方法は。

町長

今後の体制強化は商工会、観光協会と連携し、新規の寄附者やリピーターの獲得に努める。新年度は、パンフレットや特産品カタログを見直して内容の充実を図る。また町内外への宣伝・PRは町のホームページの活用と、ふるさと納税情報サイトなどで周知していく。寄附金の活用方法は基金に積み立てたのち町応援寄附基金検討委員会で協議する。

「選べる」特産品カタログ【平成26年度版】

寄附金額10,000円以上15,000円未満で選べる特産品（A～Hから1品）

A. 世羅産の産物野菜	B. 産物のこ	C. 産物のりんご
D. こたわり餅かけ セット	E. 産物の詰め セット	F. ドレッシング＆ジャム セット
G. 産物のお茶うけ セット	H. 産物のこ・産物のりんご セット	

寄附金額15,000円以上で選べる特産品（1～15から1品）

1. 産物のこ	2. 産物のこ	3. 産物のこ
4. 産物のこ	5. 産物のこ	6. 産物のこ
7. 産物のこ	8. 産物のこ	9. 産物のこ
10. 産物のこ	11. 産物のこ	12. 産物のこ
13. 産物のこ	14. 産物のこ	15. 産物のこ

ふるさと納税



田谷 幸奏 議員

わが町の地方創生は

答 人口減少克服に資する

施策の策定を進める

田谷

国の地方創生本部は、市町に対し何を求めているのか。

町が進めようとしている地方創生策の具体的な内容は。

町長

創生本部の求めに対し、向こう5年間の施策を定めた地方版総合戦略を平成27年10月頃までに策定予定である。

住民の意見を踏まえた第二次長期総合計画を策定しているが、これらの調査結果を踏まえて、人口減少克服に対応する具体的な施策などを掲げた地方版総合戦略の策定を進める。

高齢者への支援策は

答 安心して暮らせる地域づくりをしたい

田谷

常設サロンの開設数と介護保険法改正に伴う今後の役割は。

元氣な高齢者に対する具体的な支援策は。

町長

常設サロンは、現在町内に9か所設置されているが、遠方からの参加者の交通手段が課題であり、関係団体と協議している。今後、要支援1・2の方の通所サービスの受け皿として、常設サロンもその候補であり、その際は、運営費の補助などを行うことになる。

現在65歳以上の一般高齢者を対象に、一日でも長く健康で暮らしていただくため、「としこもり予防教室」などを開催している。

今後高齢化が進む中で生きがいや役割をもって社会参加していただける地域づくりをしたい。

災害時の職員配備と動員体制は

答 体制の充実を図る

田谷

町の防災対策は、他の市町と比較してどの程度か。

また「世羅町地域防災計画」にある町職員の配置と動員体制の周知方法は。

町長

防災センターの完成、備蓄品の整備のほか、自主防災組織37、避難行動要支援者支援協定13団体などの整備をしているが、その整備状況は十分とはいえない。

職員の配備体制は「注意体制」「警戒体制」「非常体制」となっており、町長の指示により体制を整備している。

職員初動マニュアルの内容及び周知は、課長会議において全職員に周知している。

安心な介護サービスの取り組みは

答 住み慣れた地域で安心して住み続けられる町づくりを推進する



盛谷 光明 議員

盛谷

介護報酬が引き下げられ、介護サービスも低下するのではないかと。特別養護老人ホームも要介護3以上でないと入所できないのか。要介護1・2の人はどうなるのか。

町長

介護サービス費は大半が引き下げとなるが、介護職員の処遇改善加算を拡充し人材確保につなげている。各介護施設、事業所には、サービスの低下や職員数の削減につながらない経営努力をお願いしたい。特別養護老人ホーム入所については、介護度の重い人から入所判断されている。要介護1・2の方であっても、やむを得ない事情により在宅での生活が困難であると認められる場合に特例入所の制度がある。

認知症対策は

答 認知症地域支援推進員の配置で適切なサービスを提供する体制をつくる

盛谷

日本の高齢化率は世界一の23%。10年後には予備軍も含め約730万人が認知症になると予想されている。認知症は早期発見と予防が重要であるが、町の対策は。

町長

認知機能低下が見られた方に受診勧奨と予防教室への参加を促している。また町内専門職種の連携により診断と治療を始める体制をつくる。ひきつづき認知症サポーターの研修会を開催する。27年度から認知症地域支援推進員の配置また認知症力フエで介護者同士の交流を図る。



充実した介護サービスで安心な老後を

職員減 大丈夫か住民サービス

答 行政サービスの満足度アップに努める



仲行 洋 議員

仲行

住民の満足度を上げるための研修は。

町長

研修は、毎年ひろしま自治人材開発機構が実施する研修を計画的に受講している。本年度は89人が受講し、県内自治体では1位である。民間の講師による接遇研修を全職員対象に毎年実施するように計画している。

仲行

国では民間企業などに女性管理職の割合を増やすように促しているが、本町における女性登用の考え方は。

町長

男女間の差別的扱いや先入観を持つことなく、採用・昇任など行っている。今後も女性職員に限定することなく個々の能力と適性に応じた任用を行う。

仲行

人事評価制度の効果は。

町長

現在人材育成を目的として管理職を対象として運用している。目標管理による職務遂行などに一定の効果が見られている。平成28年から人事評価などに基づく任用制度を運用し、評価結果を任用・給与・分限など人事管理の基礎とする。すべての職員に対して人事評価を行うため公平性・公正性・透明性・納得性が担保された制度運用を目指す。

道徳教育の教科化でどう変わる

答 授業だけでなくあらゆる面で評価を行う

仲行

児童生徒が道徳教育によって生命を大切にす
る心や他人を思いやる心、善悪の判断など規範意
識をつけることは大変重要である。道徳の教科化
によってこれまでどのようなように変わっていくのか。

教育長

現在は地域の題材を取り上げた自作資料、文科省の「私たちの道徳」などを使い指導している。教科書の使用でこれらを活用できる幅は狭まるかもしれないが、時間数を検討しながら指導していくようになる。
授業における評価とともに、道徳の時間以外でもいろいろな場面で児童生徒の持っている良い面をしっかりと見ていく必要がある。今回の機会をとらえ教職員の研修を充実させていく。



どう変わる 道徳教育

地方創生による町の総合戦略を提案

答「地方版総合戦略」を策定



徳光 義昭 議員

徳光

国の地方創生五か年計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が始動する。県内の最大課題は、疲弊がより深刻な中山間の市町で、どのようにして産業や人を呼び込むか、国は来年3月までに地方創生五か年計画を求めている。今春待望の「中国やまなみ街道」の開通により、町の活性化を図るため、次の3点を地方創生戦略として提案する。

- ①世羅IC付近に産業団地の整備を。
- ②開園10周年を迎える県民公園の集客増加を図る施策を。
- ③世羅高校に体育科の設置と、世羅台地にクロスカントリーコースの整備を。

町長

①県の企業立地推進協議会に加盟し、企業の動向、整備情報の収集を行う。
5年間の総合戦略の策定には、財政との整合性を図り十分議論しながら前向きに検討したい。

②県民公園の修繕は計画的に要望している。
現在、ふれあい広場、自然生体の里ゾーンは整備されているが、冒険の森ゾーンは整備予定。
農業公園では世羅の農産物、加工品、食事の提供や、ワインの品質向上に重点的に取り組む。

6次産業では、世羅マルシェ、レストラン、夢高原市場に加え、滞在型の交流グリーンツーリズムとの連携を図り、今後3年間で公園の魅力アップを推進する。

また、観光協会、せらアグリパーク、行政も含め集客増加を図る取り組みをする。

③世羅高校は県立高校であり、答弁は控えない。
クロスカントリーコースの整備の計画はないが、今後スポーツ振興はもとより、町のPRや駅伝合宿もあり、検討課題である。



世羅 IC 付近に産業団地の整備を



下原 嘉雄 議員



竹チップ化で環境整備を

NPO法人の設立支援は

答 ひろしまNPOセンターを紹介

下原

「まちづくり」の推進を図る活動は多様化しており、公益的活動NPO法人は欠かせないものであり、行政は相談助言体制を構築し、ふるさと創生を推進しては。

町長

NPO法人を設立することは目的ではなく活動を継続していくうえで、選択肢の一つであり、町は「ひろしまNPOセンター」を紹介している。これからは住民自治組織や活動団体と行政が連携し、主体的活動が活発に行われるよう人材育成を進める。

県道中安田田打線の歩道など安全施設の整備状況は

答 県の整備計画には計上されていない

下原

昨年地域住民からの切実な要望が行政・議会に提出され採択された。通学路やウォーキングロードでもあるこの路線は、その後も交通量増に伴い危険度も増し高齢者も安心して通行できない。住民からも町政懇談会などで要望されている地域の重要路線であり調査研究され対応を望む。

町長

県は道路整備計画2011に基づき整備を進めているが、この路線は整備の予定になく、今後は県に對し要望したい。

町政における「住民」と「町民」の定義は

答 「住民」と「町民」を使い分けたい

下原

過日のアンケートでは「住民」は一般的に20歳以上の町内にお住まいの皆様とありますが、広報では「町民」とはすべてのお住まいの皆様との表現もあります。これらはもし住民投票を要する事案があった時、重大な分かれ目であり明確にしておくことが必要では。

町長

住民とは「地方自治法第10条で区域内に住所を有するもの」であり、町民とは「町内に住む人」として使用し、年齢などで使い分けることはない。行政は法律により形成された公共の意思や目的に基づいて、執行機関として業務を行う。



米重 典子 議員

小中学校における食育は

答 感謝の心や食を大切にする心を
育てる取り組みを

米重

成長期の子どもにとっての食生活は、
体の発育だけでなく生きる意欲にもつな
がる重要な課題と考える。教育現場での
食育について

- ① 学校給食での取り組みは。
- ② 学校での食育指導・栄養教諭の役割は。
- ③ 家庭への啓発活動は。

教育長

- ① 栄養バランスの取れた献立は
もとより、地元野菜を使用す
る地産地消率も目標値3割を
大きく上回る約6割を維持し
ている。また、毎月19日を「ふ
るさと給食」の日とし、生産
者の思いを子どもに伝え、そ
の感想を届けている。
- ② 栄養教諭は、各学校の食育推
進リーダーと連携し中心的役
割を担うほか生産者との連絡
調整、啓発資料作成、養護教
諭と連携し栄養指導や保護者
の相談に対応している。
- ③ 給食だよりや保健だよりの発
行、試食会やクッキング教室
の開催により、食の大切さを
啓発している。

放課後児童クラブの 今後の動向は

答 利用状況により順次対象学年を拡大する

米重

平成27年度から現在小学1～3年となっている放課後児童クラブの
受け入れ対象が全学年に広がる方向にあるが、今後の動向について

- ① 町内の現状は。
- ② 利用希望調査、提供体制の確保は。
- ③ 国が提案する「放課後子ども総合プラン」とは。

町長

- ① 町内3か所で実施、甲山地区35名
(せらひがし小児童含む)、世羅地
区57名、世羅西地区18名が登録し
ている。
- ② 平成26年7月に実施した小学3年
生保護者対象の調査結果をもと
に、平成27年度は4年生までとし、
必要な施設の確保を図ると共に、
利用状況を見ながら順次拡大する。
- ③ 放課後児童クラブ(厚労省)と放
課後子供教室(文科省)の一体的
な運営を推進するもので、放課後
児童の受け皿を拡大することを目
的としている。



給食は おいしいなあ～



岡田 武士 議員

- 岡田**
- ① 児童生徒が夢を大きく育むための講師招聘は。
 - ② 英語力アップ（英検2級取得、海外研修の派遣）の取り組みは。
 - ③ 「世羅を愛する奨学金制度」の進捗状況は。
 - ④ 社会教育、地域学習を地域単位で開催しては。
 - ⑤ 子供のスポーツ・文化活動の指導者をサポートする会議を新設しては。

「教育環境は日本一」の政策の状況は 答着実に実行させていく

- 町長**
- ① 町内中学1年生を対象に広島大学キャンパス学習としてミニ講義や大学構内の見学をしている。また道徳教育・特別支援教育・授業研究などの指導やキャリア教育などにおいて大学教授や学芸員などの講師を招聘している。
 - ② 英検は平成27年度から受験支援制度を創設したい。
 - ③ 中学生海外研修は平成24年度から実施している。
 - ④ 今後、研究する。
 - ⑤ 平成25年度に開催した生涯学習は、全町を単位としたものと各自治組織で開催されたものを合わせて206回、約3万人の方が参加されている。町づくりステップ講座では、集落やグループの要請に応じて職員が出向き、町政に対する理解や関心を深めている。
 - ⑥ 現在スポーツ少年団を中心に振興を図っている。平成27年度は子ども参加型舞台講演の実現に向け検討する。

教育環境は日本一

- 児童・生徒がのびのび成長し夢大きく志を育むために、さまざまな講師を招へいます。
- 国際社会を生きる子どもの育成に、英語力のアップ（英検2級取得、海外研修に派遣）に取り組みます。
- 地元就職をすすめるために、世羅を愛する奨学金制度を設立します。
- 各社会教育団体と連携、協力して、社会教育・地域学習を集落単位で開催します。
- 子どものスポーツ・文化活動の指導者のサポート連携会議を新設します。



2007 ミュージカル「たすき」より

『おくだ正和 中山間8策』より

宇津戸臭気公害問題の解決進展は

答 施設改善が実施されるよう指導



仙光 保喜 議員

仙光

宇津戸地域内に臭気発生施設が7箇所あり複合臭気に悩まされ、臭気公害対策委員会を立ち上げ20年目を迎えた。

合併と同時期に悪臭防止法に基づく条例が制定され、町内全域を臭気規制地域に指定し臭気測定が開始された。その間、改善勧告が発令され改善計画の下に4億5千万円を費やして施設改善がされ、臭気測定も年6回を年8回に増やし実施しているが、現在も改善に至っていない。

町長

町の体制は、環境整備課と産業振興課が専門作業チームを作って内容により対応しているが、複合臭気であり、それぞれの事業者が規制基準を下回る努力をすることを強く求めている。

町長

施設改善が実施されるよう指導しているが、これまでの10年間に62回の臭気測定を実施し規制基準(15)を超えているのが第3牧場で24回、第4牧場が30回、養鶏場が11回。数値を見る限りでは改善に至っていない。

今年度は、7回の測定で第3牧場は全て規制基準以下、第4牧場では9月と1月に規制基準を超え、養鶏場は1月に超えている。第4牧場は、隣地の原野取得の交渉を進めているが取得が出来次第、県畜産事務所の協力を得て、新たな事業導入の計画・実施に向け進める。企業側も設備投資に全力で取り組む考えを示しており、連携を密にして指導する。

仙光

2年前の一般質問の答弁では「公害対策情報の提供を行い改善を働きかける。積極的事例もあり着実に実行されるよう指導する。改善勧告も視野に入れている。」とあった。積極的な対応を望む。



宇津戸 臭気対策は



福田 義人 議員

ドクターヘリ専用のヘリポートを

答 関係機関の連携を密に検討

福田義人

ドクターヘリの運用を生かす体制を整備することが、安全安心な町づくりの第一歩に繋がる。ドクターヘリの運航にマッチしたヘリポートがなぜ香遊ランドか、病院の近くにないという意味がない。

町長

香遊ランドに設置しているヘリポートは災害時にも使用する機能を有する。病院の近くにある方が良いが、具体的にどこが良いか、検討する必要がある。



ドクターヘリポートは病院の近くに

「ふるさと納税」の取り組みと体制は

答 特産品の見直しや体制強化に努める

福田義人

「ふるさと納税」を積極的に取り組んだ市町村の中では、自主財源を上回ったところもある。町の取り組みによっては、財政に大きく影響している。新年度の取り組みと体制は。

町長

来年度から国のふるさと納税制度の拡充が図られ、寄付の手続きの簡素化や寄付金控除額の上限が2倍に引き上げになる。実績をもとに協力業者と協議を行って特産品の充実に努め、円滑な運用に努める。

イノシシパトロール隊の設置は何処まで進んだか

答 鳥獣被害対策パトロール隊を設置する

福田義人

依然として、鳥獣被害は減少していない。抜本的に被害を防止するには、個体数の駆除を進める必要がある。来年度の有害鳥獣駆除対策と、イノシシパトロール隊設置に向けた取り組みは。

町長

鳥獣被害対策実施隊に対しパトロール任務を委任し早期捕獲、農作物被害防止につながる鳥獣被害対策パトロール隊を設置する。

元気な人紹介

No.26



世羅町東神崎

アモレレ仲田屋店長 堀田 貢寛さん

家族の輪でオープン

石釜ピッツアのお店

「世羅にはこんなにおいしい野菜がある。それを味わえるお店がやりたい。」ピッツア アモレレ仲田屋の堀田さんは家族や仲間の協力のもとに石窯を作りお店をオープンされました。

お店の名前「仲田屋」は堀田さんの屋号だそうです。

実家は宇津戸の小川さん。料理専門学校を出てお父さんの紹介で尾道のラーメン店に就職し料理の道を歩み始めるが、大阪の友人から音楽への誘いがあり旅立ち、バイトをしながらプロを目指し活動していた。

その頃、友人の結婚式が世羅であり帰郷。その席で、妻美穂子さんと出会い、1年半後彼女を追って世羅に帰りワイナリーで結婚式を挙げた。

その時の縁で、ワイナリーのレストランのシェフ生活が始まり、その内レストランも任されるようになっていた。

「自分は3男、いつかは独立し店を持ちたい。」との願望がわき、美穂子さんと一緒に全国を食歩いた。

そして平成25年5月、一面アスパラ畑だったこの場所に、石窯ピッツアの

店をオープンさせた。

店内中央には、すぐ横の畑で朝摘みしてきた野菜がたっぷり盛られたサラダバー。

「この野菜もおじいさんおばあさんにお願ひして作ってもらっているんです。」手づくりの石窯で焼く自家製野菜をふんだんに使った野菜ピッツアがお店のオススメ。世羅ワインとの相性も抜群。ノンアルコールなら季節ごとに変わる仲田屋ソーダをどうぞ。

お母さんが料理を運び、薪割はお父さん。田舎の景色も売りの一つ、町から来られた人は「この景色を見ただけで満足」と言われ、口コミで評判が広がり、満席状態が続いている。

「元気の源は、家族の協力」一生妻と一緒に働ける仕事を選んでよかったと話された。

(福田義人)



表紙紹介



3月は、卒業・卒園・退所式のシーズン。ここに

しおた保育所も3月28日に退所式が行われました。退所児童の皆さんの紹介や合唱が終わり、最後にお父さんお母さん一人ひとりにお礼のお手紙が渡されます。小さな声で「ありがとうございます」の感謝の言葉が聞こえ、胸にグッとくるシーンでした。

編集後記

議会だよりの編集は議会広報広聴特別委員会で行っています。

す。広報活動だけでなく広く町民の皆様のご意見を聞く広聴活動も行い、様々な立場の皆様の声を議会活動に反映しています。本年も5月に、各自治センターで議会報告会・意見交換会の開催を予定しています。

多くの皆さまのご参加と、ご意見を賜りたくご協力をお願い致します。

(下原嘉雄)

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長／下原 嘉雄
副委員長／福田 義人
委員／田谷 幸奏・岡田 武士
米重 典子・新原 浩

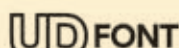
議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は6月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。



この広報は、環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。



分りやすく、読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザイン書体を一歩使用しています。